

**能力、意欲を発揮できるクリエイティブな仕事が今後どんどん増えます！**

**総務課 清水 久美 （一般事務 平成13年度採用）**

### 小田原市役所を志望したきっかけ

当初は就職活動で民間企業をまわり、自分のやりたいことが見つからず悩んでいました。大学で法学部にいたため、漠然と法律にかかわる仕事をしたいという思いから志望した公務員でしたが、調べるうちに地域の方と直接触れ合うことのできる地方行政の魅力を知り、自分にとって愛着のある小田原市役所を志望しました。

実際仕事をしてみると、小田原の風土や人柄の素晴らしさや市役所のワークライフバランスに配慮した職場環境の良さ、仕事へのやりがいを日々感じています。小田原市役所を選んで本当に良かったと思っています。

### 現在の仕事内容

入庁して初めての仕事は、戸籍住民課での窓口業務でした。戸籍届出の受理や住民票の発行事務を通じ、市民の方と直接やりとりする仕事の中で、市民の方が抱えている市や市役所への思いを肌で感じることができました。

入庁3年目から5年間は、秘書室で秘書事務に携わりました。市を大局的な視点から見るセクションです。政策がどのような形で意思決定され、まちがつくられていくのかを間近で見ることができました。

さらに入庁8年目には神奈川県総務部市町村課（現・総務局企画調整部市町村行政課）に2年間出向し、県職員として市町村職員とやりとりをする事務を行うなかで国と地方の役割、県と市町村の関係などについて深く学ぶことができました。現在は、市に戻り、総務課で条例や規則の制定改廃など主に法務に関する事務を行っています。

### 仕事のやりがい

現在の仕事は、「法務」という視点から、市役所内の様々な部署で抱えている課題を解決するための支援をするものです。市役所に長くいるとどうしても視点が偏りがちになってしまいがちですが、市民の方にとってより分かりやすく、使いやすいルールづくりはどのようなものかを念頭に置きながら日々業務を行っています。行政に関する法令は本当に複雑で多岐に渡り、毎日悪戦苦闘していますが、専門的な分野はその都度いろんな部署の担当職員に教えてもらいながらとてもやりがいを持って仕事をしています。



### 受験生の皆さんへのメッセージ

地方自治体は今とても熱いです！国と地方のあり方が変わっていくなかで、職員の能力、意欲を発揮できるクリエイティブな仕事が今後どんどん増えてくるはずですよ。小田原市でも、小田原らしさを活かしたまちづくりをする仕事があらゆる職場で待っています。一緒に小田原の未来をつくりましょう！